



子どもの命を守るのは大人です

大人はシートベルトをしているのに、子どもはチャイルドシートやジュニアシートに座らず、座席に立っていたり、運転手とハンドルの間に座らせたりして...



着用しない理由は、多い順に「子どもが嫌がるから」、「近距離だから」、「面倒だから」。

三豊の宝、大切に育てたい！

アンケート結果からは、チャイルドシートの着用を習慣づけるための苦労もうかがえました。乳幼児期から、子どもがどんなに泣いてもチャイルドシートをしない...

少年育成センター

三豊市安全安心パトロール隊 平成28年度 新規隊員募集

安全安心パトロール隊は、子どもの下校時に、多発する犯罪から子どもたちを守り、犯罪を寄せ付けず、安心して暮らせるまちをつくることを目的としたボランティア隊です。



不審者情報は減少傾向にありますが、危機的な状況がなくなつたとはいえません。隊員になつて一緒に活動し、市の安全・安心の輪を広げませんか。

活動日時 1カ月半〜2カ月に1回程度、午後3時から5時の間で活動できる時間(当番制) 活動場所 自分の住んでいる校区

青少年健全育成事業 表彰式・講演会

日時 12月13日(日) 表彰式 午後1時30分、講演会 午後2時〜3時40分 場所 市民交流センター 演題 夢と人々親としての子どもとの接し方、定員 300人(先着順) 申し込み 市青少年健全育成会 市民会議 62・11115



講師 下地敏雄氏 (教育アドバイザー)

申し込み 12月初旬までに、各支所、まちづくり推進隊に置いてある申込書に必要事項を記入し、各まちづくり推進隊に提出してください。 ※28年1月に、新規隊員に登録した人を対象とする警察主催の講習会を予定しています。

で、楽しく促す太陽派と対応はいろいろ。乗車する際は毎回、チャイルドシートの大切さを話しかけながら座らせているという人もいます。



窮屈なチャイルドシートは子どもにとって不快なものかもしれませんが、着用し続けることで、自然と身に着き、自分で着用したり家族のシートベルトを注意したりするまでに成長しているという体験がたくさん寄せられました。

まちづくり推進隊 Part.4 NPO法人 まちづくり推進隊託問

現在の会員数は92名。組織の構成は、安全度向上部会、健康度向上部会、魅力度向上部会の3部会からなり、会員の参画を促しながら自主的なまちづくりを目指した活動を行っています。安全度向上部会では、「火災警報器を取り付けたいが自分で取り付けることが困難な高齢者世帯」に対し、民生委員と協力して機器の取り付けを行います。



火災報知器の取り付け

また、健康度向上部会では、市民の関心が高そうなテーマを選び、医師などの専門家を招きました。

目指せ 男女共同参画社会 No.42

11月12日(木)〜25日(水)は「女性に対する暴力をなくす運動」週間。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。配偶者などからの暴力で悩んでいませんか。親密な関係にあつても、暴力は決して許されません。配偶者などからの暴力は、犯罪となる行為などをも含む重大な人権侵害です。一人で悩まず、ご相談ください。ご相談は、県子ども女性相談センター 087・835・3211 市女性相談・児童家庭相談(子育て支援課内) 73・3665 県警察総合相談センター 9110 または 087・831・0110 かがわ男女共同参画相談プラザ 087・832・3198



超満員となった場内

このほか、魅力度向上部会は粟島の活性化を応援しています。瀬戸内国際芸術祭で全国で一躍脚光を浴びた「漂流郵便局」の開局にあわせ、訪れた人に粟島を気軽に散策してもらおうと「あわしま歩き遊遊」という手作りマップを発行するなどの活動を行いました。 これからも会員相互に知恵を出し合いながら、地道な活動を続けていきたいと思えます。皆さんもいっしょに活動してみませんか。 ▼問い合わせ まちづくり推進隊託問 83・3639